

「基本目標 3 生涯学習の充実」に関する事業

(1-1) 点検・評価表

3-1 多種多様な学びの機会の提供

3-1-1 社会のさまざまな学習ニーズに対応した公民館事業を推進します・・・58

3-1-2 市民の読書活動とさまざまな学びを支える図書館サービスの
充実を図ります・・・・・・・・・・・・・・・・・・59

3-2 さまざまな世代の社会参画と交流機会の提供

3-2-1 市民が共に学び合う場を創出します・・・・・・・・・・60

3-2-2 社会教育関係団体の自主的、自発的な活動を支援します・・・・・・・・61

3-3 生涯学習施設の利用促進

3-3-1 生涯学習施設が十分な機能を保持するように努め、利用を促進
します・・・・・・・・・・・・・・・・・・62

3-3-2 まちづくりの拠点として、カレード、カミーノの積極的活用を
図ります・・・・・・・・・・・・・・・・・・63

令和7年度 教育委員会事務の点検・評価表（令和6年度実施事業分）

（担当課）生涯学習課

基本目標 3 生涯学習の充実
 基本的施策 1 多種多様な学びの機会の提供
 具体的施策 3-1-1 社会のさまざまな学習ニーズに対応した公民館事業を推進します

■当該施策に基づいて実施した主な事業

- ・公民館自主事業（寿大学校・大学院、各地区公民館・女性センターの講座等）の実施
- ・ののいちマナビィフェスタ2024の実施
- ・地区運動会の開催（本町、富奥、郷、押野地区）
- ・公民館・女性センターサークル会員募集チラシの発行
- ・市公民館連合会主催の事業（デジタルデバйд解消の取組、防災・減災研修会、「図書館を使った調べる学習コンクール」における公民館長賞の授与）の実施

■施策のまとめ

（1）教育振興基本計画期間における成果と課題

成果	課題
・市民が非常に高い関心を寄せている「防災・減災」をテーマとした研修会を開催することで、多くの市民が、能登半島地震の教訓や最新の防災用品に関する知識などを得ることができた。 ・地区運動会を実施したことで、幅広い世代の交流を生むことができた。	・市民の学習ニーズや地域課題は常に変化していくことから、継続的にその把握に努め、さらに魅力のある主催事業が開催できるよう公民館・女性センターを支援していく。

（2）成果指標の動向

施策	成果指標名	単位	現状値（R2）	R4実績値	R5実績値	R6実績値	目標値（R13）
3-1-1	生涯学習施設における主催行事の開催数	回/年	114	148	158	182	160

（3）今後の展望

- ・新たなニーズや地域課題の解決に努め、市民の学びを支援していく。
- ・サークル会員募集チラシの発行により、サークル活動の周知と新規会員の募集、新規のサークル登録に向けた取組を行う。

■評価

事業区分（方向性）	次年度の方向性	A 拡大・重点化 B 改善 C 継続 D その他（縮小・廃止など）	理由
C	C		多くの市民が公民館事業に参加されていることから、今後も市民のニーズに応えていく必要があるため。

令和7年度 教育委員会事務の点検・評価表（令和6年度実施事業分）

（担当課）生涯学習課

基本目標 3 生涯学習の充実
 基本的施策 1 多種多様な学びの機会の提供
 具体的施策 3-1-2 市民の読書活動とさまざまな学びを支える図書館サービス充実を図ります

■当該施策に基づいて実施した主な事業

- ・図書館資料の収集・保存・提供（年間調達冊数：12,597冊、蔵書数：261,083冊）
- ・電子書籍の貸出
- ・「野々市子ども読書活動推進計画（第四次）」の策定
- ・読書に関わるボランティアの活用（ボランティアによるおはなし会の開催）
- ・ギャラリー展示（輪島朝市を題材にした絵本『あさいち』パネル展とおはなし会 等）の開催
- ・市民学習センターの各種教室・講座（市民歴史講座、かがく実験教室、料理教室、陶芸教室など）の開催
- ・障害のある人と健常者がともに学ぶ催し（春風亭昇吉師匠のユニバーサルデザイン落語、みんなのアート展）の開催
- ・地域に関連した情報、生活に密着した情報の提供（昔の引札展、消費生活相談チラシ配布、発達障害啓発コーナーなど）

■施策のまとめ

（1）教育振興基本計画期間における成果と課題

成果	課題
・障害のある人と健常者がともに学ぶ催しを開催し、障害者が図書館に足を運ぶきっかけ作りができた。 ・利便性の高い図書館サービスと市民学習センターの諸室を活用したイベントを行い、来館者が前年度より増加した。	・市民にとっての利用しやすさを重視したサービスが行われるよう、運営事業者に対し、必要な協力・支援を行っている。 ・カミーノやフォルテをはじめとした旧北国街道周辺の施設と連携し、野々市中央地区のにぎわい創出に資する事業を実施する。

（2）成果指標の動向

施策	成果指標名	単位	現状値（R2）	R4実績値	R5実績値	R6実績値	目標値（R13）
3-1-2	市立図書館貸出冊数（電子書籍含む）	回/年	533,094	583,710	556,922	545,734	676,000

（3）今後の展望

- ・新たなニーズの把握に努め、市民にとって使いやすい施設となるよう、運営事業者に働きかけを行っていく。

■評価

事業区分（方向性）	次年度の方向性	A 拡大・重点化 B 改善 C 継続 D その他（縮小・廃止など）	理由
C	C		多くの市民に利用されていることから、今後も蔵書や行事の新鮮さに気を配りながら、現状維持に努める。

令和7年度 教育委員会事務の点検・評価表（令和6年度実施事業分）

（担当課）生涯学習課

基本目標 3 生涯学習の充実
 基本的施策 2 さまざまな世代の社会参画と交流機会の提供
 具体的施策 3-2-1 市民が共に学び合う場を創出します

■当該施策に基づいて実施した主な事業

- ・「ののいちコミュニティカレッジ」の実施（年間15回）
 講座テーマ「野生動物との共存を目指して 現状と生態を学ぶ」「口腔ケア + 災害と衛生環境」
 「ワンクリック詐欺やネットショッピングの疑似体験を通してスマホをもっと楽しく便利に使う」等
 コミカレ交流会「石川県立大学果樹園の見学と試食体験」等
- ・学びのサポーター登録者リストの更新
- ・にぎわい創出事業企画推進協議会による、旧北国街道周辺施設における季節ごとの展示（ひなまつり展示、クリスマスクイズラリー等）

■施策のまとめ

（1）教育振興基本計画期間における成果と課題

成果	課題
・「ののいちコミュニティカレッジ」において、より幅広い世代の参加を促すため、親子を対象とした「キウイフルーツを使用したジェラート作り体験」を行った。そのことにより、展示中に受講生同士の交流が生まれた。	・「ののいちコミュニティカレッジ」の講座の企画運営は公募による委員で構成されている企画委員会が行っている。今後も継続して幅広い世代向けの講座を企画・開催していくため企画委員会への支援を行っていく。

（2）成果指標の動向

施策	成果指標名	単位	現状値（R2）	R4実績値	R5実績値	R6実績値	目標値（R13）
3-2-1	学びのサポーター登録者数	人/年	25（R2）	26	25	22	55
3-2-1	市民大学校事業の参加者数	人/年	624（R1）	353	1,091	442	800

（3）今後の展望

- ・各団体が今後も自主的、自発的に活動を継続できるように支援し、必要に応じて新規の団体への支援も検討する。

■評価

事業区分（方向性）	次年度の方向性	A 拡大・重点化 B 改善 C 継続 D その他（縮小・廃止など）	理由
C	C		今後も継続して幅広い世代の市民のニーズに応えられる講座の企画に努める必要があるため。

令和7年度 教育委員会事務の点検・評価表（令和6年度実施事業分）

（担当課）生涯学習課

基本目標 3 生涯学習の充実
 基本的施策 2 さまざまな世代の社会参画と交流機会の提供
 具体的施策 3-2-2 社会教育関係団体の自主的、自発的な活動を支援します

■当該施策に基づいて実施した主な事業

・社会教育関係団体への補助金交付（交付団体数：6団体）

■施策のまとめ

（1）教育振興基本計画期間における成果と課題

成果	課題
・地域の活動に参画し、世代間交流や地域の課題を地域で解決する活動を行っている団体に対し支援を行ったことにより各団体が自主的、自発的に活動することができ、地域社会の活性化や幅広い世代間の交流に貢献した。 ・団体の活動としてSDGsの推進につながる学習機会を設けることができた。（コンポストでの堆肥作り等）	・行政と団体が対等なパートナーシップを構築していく必要がある。

（2）成果指標の動向

施策	成果指標名	単位	現状値（R2）	R4実績値	R5実績値	R6実績値	目標値（R13）

（3）今後の展望

・各団体が今後も自主的、自発的に活動を継続できるように支援し、必要に応じて新規の団体への支援も検討する。

■評価

事業区分（方向性）	次年度の方向性	A 拡大・重点化 B 改善 C 継続 D その他（縮小・廃止など）	理由
C	C		各団体の活動には、継続した支援が必要であるため。

令和7年度 教育委員会事務の点検・評価表（令和6年度実施事業分）

（担当課）生涯学習課

基本目標	3 生涯学習の充実
基本的施策	3 生涯学習施設の利用促進
具体的施策	3-3-1 生涯学習施設が十分な機能を保持するように努め、利用を促進します

■当該施策に基づいて実施した主な事業

- ・学びの杜ののいちカレード、にぎわいの里ののいちカミーノ、富奥防災コミュニティセンター、郷公民館、押野公民館、女性センターの計画的な維持管理
- ・公民館、女性センターの照明LED化工事の実施
- ・カレードの市民学習センターの諸室での土足解禁（キッチンスタジオ、創作スタジオ）

■施策のまとめ

（１）教育振興基本計画期間における成果と課題

成果	課題
・公民館、女性センターの照明LED化により、機器の長寿命化を図り、かつ消費電力の低減、CO2排出量の削減につなげることができた。 ・インターネットで公民館・女性センターの貸館の仮予約ができるシステム（いしかわ施設予約サービス）の運用により、利便性を高めることができた。	・生涯学習施設が十分な機能を保持するよう努めるとともに、カレード、カミーノ以外の生涯学習施設においてICT環境の利活用を促進していく必要がある。

（２）成果指標の動向

施策	成果指標名	単位	現状値（R2）	R4実績値	R5実績値	R6実績値	目標値（R13）
3-3-1	公民館、市民学習センター（カレード）、女性センター利用者数	人/年	94,213	154,573	160,308	143,104	200,000

（３）今後の展望

- ・利用者が安全かつより便利に施設を利用できるよう、適切に施設を維持管理していく。
- ・カレード、カミーノにおいては、今後も継続して利用者にICT環境を活用いただけるよう支援していくとともに、他の生涯学習施設においてもICT環境の利活用が進むようWi-Fi環境が整備されていることを周知していく。

■評価

事業区分（方向性）	次年度の方向性	A 拡大・重点化 B 改善 C 継続 D その他（縮小・廃止など）	理由
C	C		生涯学習施設の計画的な維持管理を行うとともに、より便利に施設を利用できるようにしていく。

令和7年度 教育委員会事務の点検・評価表（令和6年度実施事業分）

（担当課）生涯学習課

基本目標 3 生涯学習の充実
 基本的施策 3 生涯学習施設の利用促進
 具体的施策 3-3-2 まちづくりの拠点として、カレード、カミーノの積極的活用を図ります

■当該施策に基づいて実施した主な事業

- ・地域課題の解決に向けた取組
 フォルテ、カレード、カミーノ（中央（野々市）公民館、市民活動センター、1の1NONOICHI）、郷土資料館の職員が集まり、イベントの情報の共有などを行う定期的な連絡会の開催
 旧北国街道周辺施設との合同の催し（カミーノ・カレード・郷土資料館の3施設を巡るクイズラリー、カミーノ・郷土資料館・喜多家住宅・カレードでのひなまつり展示）
- ・市民協働を推進するための事業
 市民活動センター登録団体の活動支援及び交流会

■施策のまとめ

（1）教育振興基本計画期間における成果と課題

成果	課題
・カレードやカミーノの運営担当者が日頃から情報共有を行い連携することで、市の関係機関や市民団体等がカレード・カミーノを活用した様々なイベント（野あそびマルシェ、IKERU NONOICHI等）を円滑に開催することができ、にぎわいの創出を図ることができた。	・市民にとって、カレードやカミーノがより使いやすい施設となるよう、施設運営の関係者の間で調整を行っていく必要がある。

（2）成果指標の動向

施策	成果指標名	単位	現状値（R2）	R4実績値	R5実績値	R6実績値	目標値（R13）

（3）今後の展望

- ・市民によるイベント等でのカレードやカミーノ活用機会の拡大を図る。
- ・様々な活動を行う市民の交流を促すとともに、近隣施設と連携していく中で、まちづくりの新たな取り組みの創造につなげる。

■評価

事業区分（方向性）	次年度の方向性	A 拡大・重点化 B 改善 C 継続 D その他（縮小・廃止など）	理由
A	A		カレードやカミーノを会場とした様々なイベントが多数開催されており、今後も需要の拡大が見込まれるため。

（３－２）学識経験者からの意見

・公民館や女性センターは、自主事業の開催やサークル活動への支援、「マナビィフェスタ２０２４」の開催、７年ぶりの地区運動会の開催など、市民のニーズや地域課題に応じた学びの機会の提供や、市民が学んだ成果を地域に還元する機会の提供に努めるとともに、これらを通じた地域交流の活性化を図られていることは高く評価できます。今後も市民のニーズや地域課題に敏感に対応しながら内容の充実に努めていただきたいと考えます。

・市立図書館では図書館サービスと市民学習センターの施設を活用した多様なイベントなどにより幅広い市民の学習活動を支え、多くの市民に活用されていることは多いに評価できると考えます。「ユニバーサルデザイン落語」等、障害者と健常者が共に学ぶ機会が提供され、障害のある方が図書館に足を運ぶきっかけとなったことは、インクルーシブな学びの場の創出という観点からも大変意義深いです。今後も市民にとって利用しやすさを重視したサービスの提供に努めるとともに、地域課題や市民ニーズの変化を的確に捉えた事業展開と継続的な取組みを期待します。

・「ののいちコミュニティカレッジ」は、市民が主体となって学び合い、地域との関わりを深める貴重な機会を創出しています。特に、親子向けの地元特産品を活用したジェラート作り体験講座や、源氏物語をテーマにした文化講座の開催は、世代や関心の枠を超えた多様な学びの場を提供したことが評価できます。今後も受講者のニーズを捉え、幅広い世代の市民に多様な学びを提供されることを期待します。

・市民団体等によりカレードやカミーノ、郷土資料館などを活用した様々なイベントが開催されていることは賑わいの創出や市民協働にもつながり大切なことであります。今後も市民団体間の交流を促すとともに、近隣の諸施設との連携を図り、より一層の賑わいの創出、街づくりに繋げていただきたい。

・照明のＬＥＤ化工事やＩＣＴ環境の整備、「いしかわ施設予約サービス」の運用等により利用者の快適性や利便性の向上が図られたことは良かったが、一方で施設の駐車場が足りずイベントや行事に参加できなかったという意見もあるため、引き続き市民が利用しやすい環境の構築に取り組んでいただきたい。

・地域の社会教育関係団体の地域課題の解決に向けた自主的・自発的な取組みは、地域コミュニティの活性化に資するものとして重要であることから、団体の安定的な活動を支える継続的な支援体制の充実に期待します。

（３－３）今後の方針

- ・様々な地域課題や市民ニーズを常日頃から把握し、それに応じた取組を、公民館事業、図書館事業などを通して実施していきます。障害の有無、年齢、性別などに関わらず、誰もが共に学び、交流できる学びの場を創出していきます。

- ・コミュニティカレッジ等の講座には、幅広い世代の方にとって関心の高いテーマを取り入れ、より多くの方が参加できるよう工夫を凝らします。これにより、市民一人ひとりが主体となって学び合い、地域社会とつながる機会を創出していきます。

- ・地域課題の解決に向けて取り組む社会教育関係団体の活動が円滑に行われるよう、団体の自主性・自発性を尊重しながら支援していきます。

- ・旧北国街道周辺の施設と連携しながら、市の賑わい創出事業の推進を図ります。また、市民にとって、カレードやカミーノがより使いやすい施設となるよう、施設運営関係者間の調整を行います。